

# レベル別 日本語多読 ライブラリー

にほんご よむよむ文庫

Vol.1 **2** (1)

## 絵姿奥さん

音声CD入り

ある男が、きれいな奥さんと結婚してから全然働かなくなりました。奥さんの顔をいつも見ていたからです。そこで、ある日、奥さんは自分の顔を紙に描いて渡しましたが……。

## にほんご よむよむ文庫



これは、日本語を勉強している人のための「読みもの」シリーズです。4レベルに分かれていて、昔話、創作、名作、伝記などいろいろな話があります。レベルごとに言葉や文法が制限されていて、読みやすく書かれています。漢字には全てひらがなが付いていますから、辞書を引かないでどんどん読んでみましょう。

レベル	クラス	語彙数	文字数／1話
1	初級前半	350	400～1500
2	初級後半	500	1500～2500
3	初中級	800	2500～5000
4	中級	1300	5000～10000

跳跳蛙  
日语读库



にほんご よむよむ文庫

Vol.1 2 ①

え すがた おく  
絵姿奥さん

NPO法人 日本語多読研究会 主编  
(日) 高桥 宗子 改编  
雾生 早苗 插图

外语教学与研究出版社  
北京

京权图字: 01 - 2008 - 1937

© Originally Published by ASK Co., Ltd., Tokyo Japan

### 图书在版编目(CIP)数据

跳跳蛙日语读库. Vol. 1. 2① / 日本NPO法人日本語多读研究会主编. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2008.5

ISBN 978 - 7 - 5600 - 7521 - 1

I. 跳… II. 日… III. 日语—自学参考资料 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2008) 第 064631 号

出版人: 于春迟

责任编辑: 唐晓艳

装帧设计: 王 军

出版发行: 外语教学与研究出版社

社 址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址: <http://www.fltrp.com>

印 刷: 北京国邦印刷有限责任公司

开 本: 880 × 1230 1/32

印 张: 0.875

版 次: 2008 年 7 月第 1 版 2008 年 7 月第 1 次印刷

书 号: ISBN 978 - 7 - 5600 - 7521 - 1

定 价: 27.90 元 (全五册)

\* \* \*

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

物料号: 175210001

## 日本語を勉強しているみなさんへ

「にほんごよむよむ文庫」は、

日本語を勉強しているみなさんのための「読みもの」シリーズです。

楽しみながらたくさん読んでください。

わかるものをたくさん読むと、知らないうちに漢字の読み方や言葉が身につきます。  
読んだ話をCDでも聴いてみてください。読みながら聴いてもいいでしょう。

目からも耳からもどんどん日本語を吸収しましょう！

## 「にほんごよむよむ文庫」4つのルール

- 1 やさしいレベルから読む。
- 2 辞書を引かないで読む。
- 3 わからないところは飛ばして読む。
- 4 進まなくなったら、他の本を読む。

あるところに、男の人と、

その奥さんが住んでいました。

奥さんは、とてもきれいな人でした。

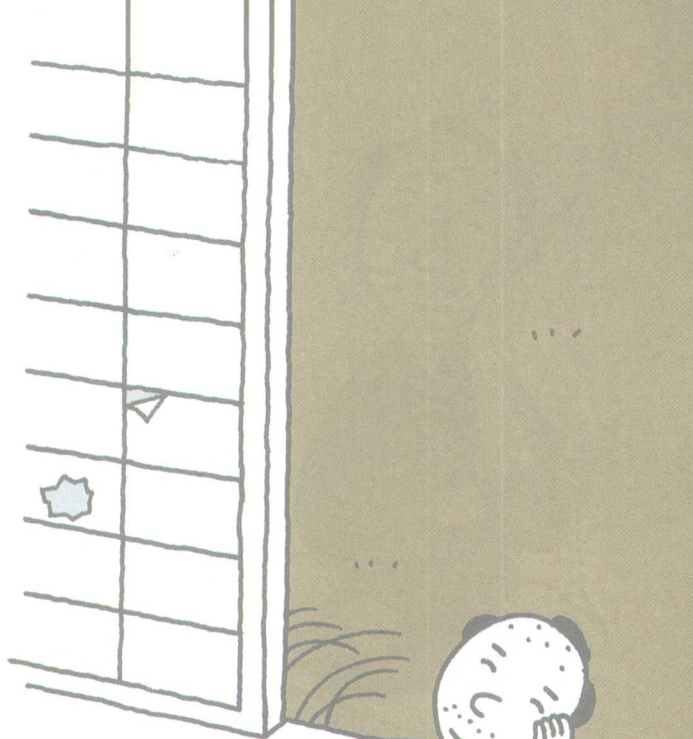
男は、このきれいな奥さんが大好きでした。

毎日、奥さんの顔を見て、

「きれいだなあ、きれいだなあ」

と、言っていました。





男は、結婚する前は、よく働きました。

でも、結婚してからは、毎日、毎日、

家で奥さんを見ていました。全然働きません。

奥さんは、とても困りました。





ある日、奥さんは、紙に絵を描いて、  
 男に渡しました。そして、言いました。  
 「これは、私の顔の絵です。この絵を  
 畑に持って行って、働いてください」

男は、畑に行くと、その絵を  
 木の枝につけました。



それから、毎日、畑に行つて、

野菜や米を作りました。

男は、少し働いて、

奥さんの絵を見ます。

「きれいだなあ」

また、少し働いて、絵を見ます。

「きれいだなあ」

いつも奥さんの絵と一緒にです。





ある日、男が畑で働いていると、強い風が吹きました。

ヒューッ！

「あ、大変だ！」

男は、大きな声を出しました。

絵は空高く飛んでいきます。





ひゅーっ  
ヒューツ！  
ひゅーっ  
ヒューツ！

絵は、

と お  
遠くへ遠くへと

と  
飛んでいきます。





奥<sup>おく</sup>さんの絵<sup>え</sup>は、殿<sup>との</sup>様の城<sup>しろ</sup>の庭<sup>にわ</sup>に飛<sup>と</sup>んでいきました。

庭<sup>にわ</sup>にいた殿<sup>との</sup>様が、飛<sup>と</sup>んできた絵<sup>え</sup>を見<sup>み</sup>ました。

「きれいな人<sup>ひと</sup>だなあ」

殿<sup>との</sup>様<sup>さま</sup>は、家<sup>け</sup>来<sup>らい</sup>に言<sup>い</sup>いました。

「この人<sup>ひと</sup>をすぐここ<sup>こ</sup>に連<sup>つ</sup>れてきなさい！」





それから、けらい 家来は毎日、まいにち その絵をえ 持って、むら たくさんの村に行きました。

そして、むら 村の人に、

「この絵の女はえ どこだ？ おんな どこにいる？」  
と聞き きました。

でも、だれもわかりません。



ある日、男おとこの家に家来けらいが来きました。

そこには、絵えと同じ顔かおの女おんなの人ひとが  
いました。

「あ、この女おんなだ！」

家来けらいは、奥おくさんに言いいました。

「城しろで殿様とのさまが待まっている。

すぐまに城しろに来きなさい」

男おとこと奥おくさんは、びっくりしました。

奥おくさんは言いいました。

「嫌いやです。



わたしは行きたくありません」

でも、家来は言いました。

「だめだ。今すぐ来なさい」

奥さんは、急いで男に桃の種を

渡しました。

「この種を植えてください。

三年後に桃ができます。殿様の

城にそれを売りに来てください」

家来は、奥さんを

城へ連れていきました。



男は、奥さんがいなくなつて、

とても悲しいです。

でも、奥さんからもらった

桃の種を植えて、毎日、毎日、

水をやりました。

そして三年後……。

大きな桃ができました。

